

【政務活動報告書（県内）】（2018年度分）

銀杏泰利分

年月日	活 動 先			政務活動の内容	関連領収書 番号
	住 所	活動先の名称	対応者		
2018/ 05/16	鳥取市	駅構内喫茶店	鳥取県手話サー クル連絡協議会 ・榎原章二副会 長	手話通訳者の頸肩腕障害等の 健康問題について意見交換 (駐車料金)	19
2018/ 06/09	倉吉市	県立倉吉体育文化会館	日本ボーイスカ ウト鳥取連盟	平成30年度日本ボーイスカ ウト鳥取連盟年次総会参加 (交通費)	25
2018/ 07/13	米子市	ロイヤルホテル大山	鳥取県(商工労 働部通商物流課)	地域開発フォーラム、GTI 北東アジア地方協力委員会等 参加	47
2018/ 08/10, 11	米子市	ANAクラウンプラザ ホテル米子(レセプショ ン)、大山総合体育館(記 念式典)	第3回「山の日」 記念全国大会in 鳥取実行委員会	第3回「山の日」記念全国大会 in鳥取 レセプション(8/10) 及び記念式典(8/11)参加(宿 泊費)	58
2018/ 09/20	鳥取市	㈱アクシス会議室	空の駅オヤジの 会	空の駅オヤジの会参加(駐車 料金)	75
2018/ 10/06, 07	米子市	ANAクラウンプラザ ホテル米子(交流会)、 米子コンベンションセ ンター(大会)	手話パフォーマ ンス甲子園実行 委員会	第5回全国高校生手話パフォ ーマンス甲子園交流会(10/6) ・大会(10/7)参加(宿泊費)	86

県内政務活動に要する交通費（JR等運賃、タクシー代）及び宿泊費を充当する場合に記載すること。

## 政務活動報告書（2018年度）

活動事項	国会議員への合区解消要望、地方6団体合区解消全国決起大会参加	
活動年月日	2018年 4月26、27日	
場 所	参議院議員会館、衆議院第1議員会館、全国町村会館	
活動の相手方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山本博司参議院議員（公明党参議院国会対策委員長）</li> <li>・梶屋敬悟衆議院議員、他役員</li> <li>・地方6団体合区解消全国決起大会</li> </ul>	
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 参議院選挙において、選挙区に於ける合区解消し、各県最低一人枠を復活すること。</p> <p><b>【内容】</b> 連立与党公明党幹部に、合区解消を要望した。要望内容の要旨は、 「第24回参議院議員通常選挙で憲政史上初めて行われた合区による選挙では、島根県と鳥取県、そして徳島県と高知県が合区になった。選挙の結果、鳥取県は全国で唯一県の代表を出すことができず、地方の意見を国政に届けられなくなるという結果をもたらしたことは非常に大きな問題である。公職選挙法の附則に抜本的な見直しが規定されていることから、幅広い国民世論を背景として、合区を早急に解消し、すべての都道府県の県民が、代表を国政に送り出すことが可能となる選挙制度を構築されることを強く要望する。」 という内容である。</p> <p><b>【結果（成果）等】</b> 地方6団体合区解消全国決起大会に於いて、公明党を代表して登壇した来賓の山本博司参議院議員が、「今現在は合区の解消を目指さなければいけない（要旨）」との発言をおこなって、連立与党公明党が当面合区解消に向かうことを初めて明らかにした。</p>	
関連領収書番号	伝票No.	10、14、16。

公明党参議院国会対策委員長

平成30年4月26日

山本 博司 様

公明党島根県議会議員団

公明党鳥取県議会議員団

## 参議院選挙における合区解消の要望

日本国憲法が昭和21年11月3日に公布されて以来70年間、二院制を採るわが国において、参議院は一貫して都道府県単位で代表を選出し、地方の声を国政に届ける役割を果たしてきた。

こうしたなか、一昨年7月の第24回参議院議員通常選挙で憲政史上初めて行われた合区による選挙では、島根県と鳥取県、そして徳島県と高知県が合区になった。選挙の結果、鳥取県は全国で唯一県の代表を出すことができず、地方の意見を国政に届けられなくなるという結果をもたらしたことは非常に大きな問題である。

また、明年予定されている参議院選挙の結果次第では、広域自治体としての都道府県に於いて、県民の代表を参議院に一人も送り出せないことも懸念される。そうなれば、それを許した参議院選挙制度には、憲法上の疑義が生じることになる。県民には国政に参加するために代表を送り出す権利があるからである。

選挙制度において一票の格差の是正は重要な課題ではあるが、このことを理由として人口のみにより単純に区割りを決定すべきではない。

さらに、わが国が直面する急激な人口減少問題をはじめ、この国のあり方を考えていく上でも、参議院の選挙制度は、多様な地方の意見が、国政のなかで、しっかりと反映される仕組みとすべきである。

今回の合区による選挙はあくまで緊急避難措置として行われたものではあるが、この措置は4県にとどまるものではなく、今後全国に広がっていく可能性もある。

ついては、公職選挙法の附則に抜本的な見直しが規定されていることから、幅広い国民世論を背景として、合区を早急に解消し、すべての都道府県の県民が、代表を国政に送り出すことが可能となる選挙制度を構築されることを強く要望する。

(H02-a)

事 務 連 絡  
平成30年4月10日

議 員 各 位

議会事務局議事・法務政策課  
参事 谷口 (26-7882)

「合区の早期解消促進大会」の開催について（お知らせ）

このことについて、下記のとおり全国都道府県議会議長会から本県議長宛に出席依頼があり、稲田議長が出席することとしています。

この大会は、地方公共団体の議長及び首長が出席して開催されるものですが、このたび、本県議員からこの大会への参加について問い合わせがあり、大会事務局に確認したところ、若干名の議員であれば参加可能との回答がありましたので、皆様にお知らせします。

つきましては、参加を希望される場合は、本日中に谷口までご連絡ください。

ただ、既に予定人員を超えているので、今回の参加者は、立ち見になる可能性があるとのことでしたので、あらかじめご了承ください。

なお、この大会への参加は、公費による議員派遣ではなく、政務活動費での対応となりますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

記

- 1 開催日 平成30年4月27日（金）午前11時から12時10分まで
- 2 会 場 全国町村会館2階ホール（東京都千代田区永田町1-11-35）
- 3 主催者 地方自治確立対策協議会（地方六団体）
- 4 参加対象 地方公共団体の議長及び首長等
- 5 内 容
  - (1) 開会
  - (2) 大会アピール
  - (3) 合区解消に関する地方側からの発言
  - (4) ご来賓挨拶
  - (5) まとめ

(H02-d)

## 「合区の早期解消促進大会」開催要領

1 大会名称 「合区の早期解消促進大会」

2 目的

合区による選挙は地方創生にも大きく逆行するものであり、地方六団体挙げて合区の早期解消を決議しているところである。平成31年の参議院議員選挙までに合区を解消するためには、まさに今国会が正念場であり、地方から参議院議員選挙制度の議論を進める各党に対して合区の早期解消を更に声を大にして主張し理解を求め、国民の合意形成、国民世論の醸成にも資することを目的としてここに「合区の早期解消促進大会」を開催するものである。

3 主催 地方自治確立対策協議会（地方六団体）

4 日時 平成30年4月27日（金） 11:00～12:10

5 会場 全国町村会館2階ホール 東京都千代田区永田町1-11-35

6 来賓 来賓として各党に臨席を依頼

7 大会の流れ

(1) 開会

(2) 大会アピール

(3) 合区解消に関する地方側からの発言

(4) ご来賓挨拶

(5) まとめ

8 出席者 地方公共団体関係者等（約220名）

〔 都道府県知事、都道府県議会議員  
市町村長、市町村議会議員 等 〕

(H02-e)

# 合区の早期解消促進大会

## — 大会アピール —

日本国憲法が昭和22年に施行されて以来、二院制を採る我が国において、参議院は一貫して都道府県単位で代表を選出し、地方の声を国政に届ける役割を果たしてきたが、平成28年7月に憲政史上初の合区による選挙が実施された。

その結果、投票率の低下や直接候補者と接する機会の減少、自県を代表する議員が出せないなどの合区を起因とした弊害が顕在化した。

我が国が直面する急激な人口減少問題をはじめ、この国のあり方を考えていく上でも、多様な地方の意見が、国政の中でしっかりと反映される必要があり、都道府県ごとに集約された意思が参議院を通じて国政に届けられなくなることは非常に問題で、地方創生にも逆行するものである。

本日、我々はここに、次期参議院選挙において合区による選挙が再び行われることのないよう、早急に合区を解消し、都道府県単位による代表が国政に参加できる選挙制度とすることを強く求める。

平成30年4月27日

地方自治確立対策協議会（地方六団体）

(H02-f)

## 政務活動報告書（2018年度）

活動事項	子育て王国とっとり推進議員連盟と厚労省&内閣府との保育勉強会	
活動年月日	2018年 4月26日	
場所	中央合同庁舎第8号館	
活動の相手方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川岸直樹 内閣府子ども・子育て本部参事官付参事官補佐</li> <li>・児玉泰明 内閣府子ども・子育て本部参事官付企画官</li> <li>・齋藤克也 厚生労働省子ども家庭局保育課課長補佐</li> <li>・大島史也 厚生労働省子ども家庭局保育課企画調整係</li> </ul>	
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 子ども・子育て新支援制度施行後2年が経過し、本県に於ける今後の方向性を検討するため、国の制度に対する現状と評価を伺うとともに、いくつかの課題について意見交換し、本県の今後の施策に反映させていく。</p> <p><b>【内容】</b> 内閣府子ども・子育て本部と厚生労働省子ども家庭局保育課それぞれより以下の課題について聴取、意見交換をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業主導型保育事業の課題について 本県では保育ニーズを超える企業主導型保育所の整備が進んでおり、保育士不足、引き抜き等の状況が発生している。市町村の関与が薄いこと、保育料の設定が自由なこと、認可保育所と同様に助成が受けられること、などの課題の改善についてどう考えるか。</li> <li>・保育の質の向上、良質な子育て環境の確保について 特に施設保育所では、保育士確保、特に経験のある保育士確保が難しい現状にある。また、都市部に於いては園庭確保が難しく、良質な環境とは言えない。これらの課題をどう考えるか。</li> <li>・新制度の現状評価と都道府県の取組について 内閣府も保育施策として子ども・子育て新支援制度を導入したが、今後国（内閣府、厚生労働省）として子育て支援をどのようにおこなうのか。</li> </ul> <p><b>【結果（成果）等】</b> 地方での企業主導型保育所整備の問題点を具体的に提示し、現状について理解を進めることができた。 保育人材確保について、処遇改善加算や配分の見直しなど実施していくこと、22万人分の保育増を確保するため予算化をするという国の方針を確認できた。</p>	
関連領収書番号	伝票No.	10、14。

平成30年4月13日

子育て王国とっとり推進議員連盟会員 各位

子育て王国とっとり推進議員連盟  
会長 安田 優子

## 国（内閣府・厚生労働省）との意見交換会の実施について

本議員連盟では、下記のとおり国（内閣府・厚生労働省）との意見交換会を実施したいと考えています。

詳細につきましては後日改めてご連絡させていただきますが、会員の皆さまにおかれましては、取り急ぎ、参加可否を別紙により4月18日（水）までにご回答くださいますようお願いいたします。

なお、飛行機の手配、宿の手配は各自でご準備いただきますようお願いいたします。

## 記

意見交換会実施案 ※調整中のため、変更になる場合があります。

## 1 日時（予定）

4月26日（木）午後4時から午後5時頃まで（内閣府）

4月26日（木）午後 又は 4月27日（金）午後（厚生労働省）

※厚生労働省は日程が確定していません。内閣府との合同の可能性もあり

## 2 対応省庁及び内容（予定）

対応省庁	意見交換会内容
内閣府	○企業主導型保育事業所の課題 ○保育の質の向上、良質な子育て環境の確保について
厚生労働省	○新制度の現状評価と都道府県の取組について

議会事務局調査課 安養寺、池原

電話 0857-26-7880

ファクシミリ 0857-26-7461

(H02-b)



平成30年4月20日

子育て王国とっとり推進議員連盟会員 各位  
(標題の意見交換会に参加される議員のみ)

子育て王国とっとり推進議員連盟  
会長 安田 優子

## 国（内閣府・厚生労働省）との意見交換会について

本議員連盟と国（内閣府・厚生労働省）との意見交換会について、集合日時及び集合場所を下記のとおりとしますので、お知らせします。

なお、直接、意見交換会会場へ行かれる場合は、その旨、ご連絡ください。

### 記

- 1 集合日時  
4月26日（木）午後3時
- 2 集合場所  
鳥取県東京本部  
(東京都千代田区平河町 2-6-3 都道府県会館 10階 電話 03-5212-9077)  
※東京本部から会場までは徒歩若しくはタクシーで移動予定

### 一 参 考 一

#### 【意見交換会概要】

《日時》 4月26日（木）午後4時から午後5時頃まで

《会場》 中央合同庁舎第8号館 8階 822会議室

#### 《対応省庁及び内容》

対応省庁	意見交換会内容
内閣府 厚生労働省	○企業主導型保育事業所の課題 ○保育の質の向上、良質な子育て環境の確保について ○新制度の現状評価と都道府県の取組について

《参加者》 別添名簿のとおり ※意見交換会当日までに変更があるかもしれません。

議会事務局調査課 安養寺、池原

電 話 0857-26-7880

ファクシミリ 0857-26-7461

(H02-C)

## 政 務 活 動 報 告 書 ( 2 0 1 8 年 度 )

活 動 事 項	会派合同政務調査：島根原子力発電所3号機調査と意見交換 (特に安全性確保対策について)	
活 動 年 月 日	2018年 6月12日	
場 所	島根原子力発電所	
活 動 の 相 手 方	・中国電力(株)島根原子力発電所職員	
目 的 ・ 内 容 ・ 結 果 等	<p><b>【目的】</b></p> <p>今後、新規稼働に向けて動き出している島根原発3号機を中心に、安全性確保について、会派自民党・公明党・会派希望・福浜議員合同で現地調査をおこなう。</p> <p><b>【内容】</b></p> <p>発電所周辺、防潮壁、消防施設、電力供給施設、建屋外壁、建屋内部等々案内して頂き、直に調査した。</p> <p>特に3号機では内部まで詳しく見させて頂き、説明を伺った。福島原子力発電所で問題になっている原子炉圧力容器の下まで入り調査することができた。</p> <p>また、会議室に於いて、幹部職員より丁寧に説明を受けた。</p> <p><b>【結果(成果)等】</b></p> <p>再稼働に向けて審査を受けている2号機を上回る安全確保対策が講じられていることを確認できた。</p>	
関連領収書番号	伝票No.	21 / 34

(H04-報告書)

会派自民党・公明党・会派希望・福浜議員 政務調査日程

平成30年6月11日

1 日 時 平成30年6月12日(火)

2 調査先 島根原子力発電所

3 日 程

時 間	場 所	備 考
11:40	鳥取駅発	スーパーまつかぜ5号
12:09	倉吉駅発	↓
12:41	米子駅発	↓
13:01	松江駅着	↓
	タクシー(約40分)	島根原子力発電所 一矢(いちや)案内所
13:45	島根原子力発電所 (松江市鹿島町片匂 654-1)	現地調査及び意見交換 ・島根原子力発電所の安全対策について
15:45	電話:0852-82-2220	
	タクシー(約40分)	
16:30	松江駅着	
16:43	松江駅発	スーパーおき4号
17:08	米子駅着	↓
17:41	倉吉駅着	↓
18:16	鳥取駅着	↓

4 その他

(1) 当日、自動車の運転免許証を必ずお持ちくださいますようお願いいたします。

(2) 昼食は各自でお取りいただきますようお願いいたします。

(3) JRの切符は各自でご購入いただきますようお願いいたします。

(H04-a)

## 政務活動報告書（2018年度）

活動事項	山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会総会・現地調査	
活動年月日	平成30年7月19日	
場所	餘部・空の駅、山陰海岸ジオパーク館（新温泉町）	
活動の相手方	山陰海岸ジオパーク推進協議会 秋吉秀剛事務局長 京都府知事代理 京都府丹後広域振興局 西村局長 兵庫県知事代理 兵庫県但馬県民局 松浦ジオパーク参事 鳥取県知事代理 鳥取県生活環境部 酒嶋部長 （講演）鳥取環境大学 柚洞一央准教授	
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b></p> <p>三府県議会の関係議員で構成する議員の会（議員連盟）の定期総会をおこない、30年度の推進体制を決める。また、関係機関へのジオパーク推進の要望内容を決定するとともに、要望書を提出する。ユネスコ世界ジオパーク現地審査員でもある柚洞准教授より講演を頂く。山陰海岸ジオパークの中心施設である山陰海岸ジオパーク館を視察する。</p> <p><b>【内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会では、役員体制の決定と事業計画、関係機関への要望内容を決定した。</li> <li>・事業計画として、①国、国会、三府県知事、山陰海岸ジオパーク推進協議会会長への要望活動、②関西広域連合並びに議会へのPR、③今後のジオパークの再認定審査に向けての支援、④山陰海岸ジオパークに関連するイベント等（120kmウォーク開催等）への支援、⑤ジオパークへのアクセス向上に対する支援、を決定した。</li> <li>・山陰海岸ジオパーク館内を視察するとともに、ユネスコ世界ジオパーク現地審査員でもある柚洞准教授の講演を聴いた。</li> </ul> <p><b>【結果（成果）等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰海岸ジオパーク館は山陰海岸ジオパークの中心施設にもかかわらず、展示内容が不十分で、三府県にまたがるジオスポット等の情報発信も不十分だった。その場で協議会関係者に整備を要望した。</li> <li>・講演では、今後ユネスコの理念を実現させるような取り組みが必要になり審査もその点を重視するようになること、ジオパーク同士の国際連携が必要になること、ただ見せるだけではなくジオパークの中味・特長を良く出していく必要があること、など伺い参考になった。</li> </ul>	
関連領収書番号	伝票No.	143

## 政 務 活 動 報 告 書 ( 2 0 1 8 年 度 )

活 動 事 項	林活地方議連全国連絡会議平成30年度定時総会参加	
活 動 年 月 日	2018年 7月23日	
場 所	東海大学校友会館 (霞が関ビル)	
活 動 の 相 手 方	森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟全国連絡会議	
目 的 ・ 内 容 ・ 結 果 等	<p><b>【目的】</b> 森林・林業・林産業を活性化する為の議員連盟全国連絡会議総会に出席し、今後の議員連盟の活動並びに議会活動の一助とする。</p> <p><b>【内容】</b> 総会では平成29年度の事業及び収支、平成30年度の事業及び予算の審議と情報収集を行った。 沖修司 林野庁長官、前田直登 日本林業協会会長より、今後の林業施策について話を伺った。 また、小坂善太郎林野庁森林整備部計画課長による「新たな森林管理システムと森林環境税（仮称）について」との講演を聴いた。 意見交換では、皆伐再造林事業において、鹿による苗木の食害が問題になっていることが報告された。</p> <p><b>【結果（成果）等】</b> 特に森林環境税の導入をはじめとして、日本の林業施策が大きく変わることを確認した。 本県に於いては、森林が県土の7割以上を占め貴重な資源となっているが、その管理と整備が求められているなか、新たな制度や税の導入を県事業に十二分に活かしていくことが必要だと改めて痛感し、今後議会を通じて求めていく。 鹿による苗木の食害も問題は、本県でも皆伐再造林を進めることが今後必要になると思われ、広く情報収集をして対策を検討しなければいけない。</p>	
関連領収書番号	伝票No.	45、50～52。

平成30年6月18日

会 員 各 位

鳥取県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟

会 長 内 田 博 長

## 林活地方議連全国連絡会議平成30年度定時総会 の出席について（依頼）

このことについて、下記のとおり開催される予定ですので、御出席くださるようお願いいたします。  
ついては、出欠の可否について、6月25日（月）までに事務局までご返答をお願いいたします。

記

林活地方議連全国連絡会議平成30年度定時総会

日時：7月23日（月）13時30分～16時

場所：東海大学校友会館「阿蘇の間」 TEL：03-3581-0121

（東京都千代田区霞が関3-2-5霞が関ビル35階）

事務局 中島、有間 電話 0857-26-7464

FAX 0857-26-7461

(H06-a)

## 平成30年度定時総会次第

1 開会

2 会長挨拶 谷 会長 (知歌山県)

3 来賓挨拶 林野庁長官 沖 修司  
日本林業協会 前田会長

4 議事

(1) 議案1号の1 平成29年度 事業報告について

(2) 議案1号の2 平成29年度 収支計算書について  
(監査報告)

(3) 議案2号の1 平成30年度 事業計画 (案) について

(4) 議案2号の2 平成30年度 収支予算書 (案) について

(5) 議案3号 平成30年度 会費の賦課及び徴収方法 (案) に  
ついて 植林しても鹿被害 (北海道)

(6) 議案4号 役員改選について

(7) その他

5 講演

「新たな森林管理システムと森林環境税について (仮題)」

林野庁森林整備部計画課長 小坂 善太郎 氏

6 閉会

(H06-b)

# 新たな森林管理システムと 森林環境税(仮称)について

平成30年7月

林野庁

※ 講演資料の表紙

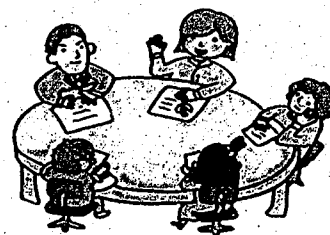
(H06-C)



## 政 務 活 動 報 告 書 ( 2 0 1 8 年 度 )

活 動 事 項	厚生労働省「地域生活支援拠点整備事業」について勉強会	
活 動 年 月 日	2018年 7月24日	
場 所	山本博司参議院議員事務所。	
活 動 の 相 手 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山本博司参議院議員</li> <li>・原雄亮 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課</li> </ul>	
目 的 ・ 内 容 ・ 結 果 等	<p>【目的】</p> <p>国が進めている、地域生活支援拠点等の整備の状況と、今後の展開についてお聴きし、本県に於ける対策の参考にする。</p> <p>【内容】</p> <p>地域生活支援拠点等は、障がい者等の重度化・高齢化や「親亡き後」に備えるとともに、地域移行を進めるため、重度障害にも対応できる専門性を有し、地域生活において、障がい者等やその家族の緊急事態に対応を図るものだ。</p> <p>国に於いては、全国の圏域に一カ所の拠点を整備する目標を掲げているが、平成29年4月1日までに整備が終わったものは9圏域にすぎない。</p> <p>第4期（平成27年～29年度）に各都道府県に少なくとも一カ所整備との目標も達成できていない。</p> <p>本県に於いては、未だに1つも整備されていないという課題がある。</p> <p>国では、第4期の目標を第5期（平成30年～32年度）にずれ込んで達成をと考えている。</p> <p>施設は、既存施設を活用して整備でき、各地では多様な施設が整備されている。ただ、国の補助金は主に国補正予算で充当される部分が多く、すかもその額は十分でないと感じた。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>島根県では既に1カ所整備されている。</p> <p>ただ、県が主体となって整備するものでもないことから進捗が心配され、県4市を中心に助言する必要があると感じ、県の担当課とも相談協議した。</p>	
関連領収書番号	伝票No.	45、5.2～5.4。

# 地域生活支援拠点等について 【初版】



平成30年3月

厚生労働省障害保健福祉部  
障害福祉課

※資料の表紙

(H06-a) HPwに掲載される後

# 地域生活支援拠点等の全国の整備状況について(平成29年4月1日時点)(概要)

※ 障害福祉課調べ

○ 地域生活支援拠点等の全国の整備状況について、平成29年4月1日時点で、46の自治体(障害保健福祉圏域含む)において、整備されている。(全国の自治体数:1741、圏域数:141)

## ① 地域生活支援拠点等の整備数について(予定含む)

平成29年4月1日時点で整備済み	37市町村	9圏域
平成29年9月末までに整備予定	5市町村	2圏域
平成29年度末までに整備予定	75市町村	32圏域
平成30年度に整備予定	64市町村	11圏域
未定	1025市町村	87圏域

※ 別資料の1枚目

## ② 整備類型について(予定含む)

多機能拠点型	25市町村	4圏域
面的整備型	283市町村	85圏域
多機能拠点型+面的整備型	45市町村	3圏域
その他	0市町村	0圏域
未定	853市町村	49圏域

(H06-e)

(課題等)

※ 整備にあたって、備えるのが困難な機能として、「緊急時の受入・対応」、「専門的人材の養成・確保」が大宗を占めていた。  
 ※ 今後の課題については、主に「地域の社会資源が不足していること、整備・運営に係る財源の確保」等があげられている。

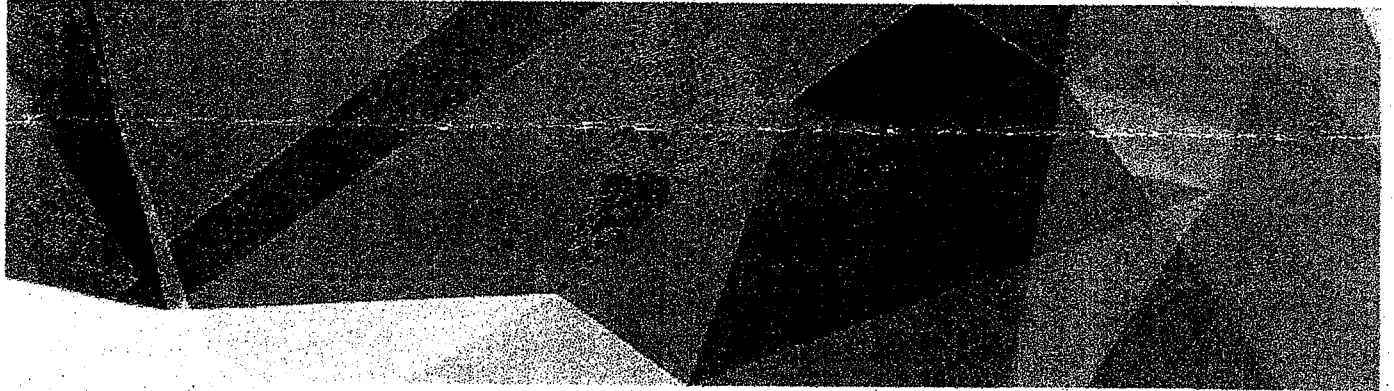
## 政 務 活 動 報 告 書 ( 2 0 1 8 年 度 )

活 動 事 項	創価大学との就職支援協定協議	
活 動 年 月 日	2018年 9月21日	
場 所	創価大学キャリアセンター	
活 動 の 相 手 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩岡賢一 創価大学・創価女子短期大学キャリアセンターキャリア・就職支援課課長補佐</li> <li>・棚田一夫 鳥取県東京本部産業振興・定住支援・県立ハローワークチーム主幹</li> </ul>	
目 的 ・ 内 容 ・ 結 果 等	<p><b>【目的】</b> 鳥取県出身学生のIJUターン就職を促進するとともに、鳥取県の地域経済を支える人材の育成や確保を目的として、創価大学と就職支援協定を結ぶ協議をおこなった。創価大学は、私の子息が出身校であるというつながりがあるので選定した（6年前に本県内就職済）。</p> <p><b>【内容】</b> 棚田一夫 鳥取県東京本部主幹と同行した。 創価大学ではこれまでに都道府県との就職支援協定を結ばれており、近年岡山県とも近年就職支援協定を結ばれ成果を上げている。 鳥取県出身の在学生も数十名いることから、前向きな協議ができた。</p> <p><b>【結果（成果）等】</b> 11月1日付けで、創価大学及び創価女子短期大学と就職支援協定が締結できた。 協定に盛り込まれている連携・協力事項は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①学生に対する鳥取県内の企業情報、各種就職イベント等の周知</li> <li>②学内でおこなう就職相談会、企業説明会等の開催</li> <li>③学生の保護者に対するIJUターン就職に係る情報提供</li> <li>④学生の就職に係る情報交換及び実績把握</li> <li>⑤県内企業等における学生のインターンシップ受入の支援</li> <li>⑥その他学生のIJUターン就職促進に関すること</li> </ol> <p>となっている。</p>	
関連領収書番号	伝票No.	74、76～78。

(参考資料)



○ 14時 (午後2時) 岩岡 13:20 改札 川玉子駅  
キャリアサポートセンター - 042-691-3523 棚田090-4147-6031



2018年01月15日

## 「岡山県と創価大学および創価女子短期大学との就職支援に関する協定書」を締結しました

就職・キャリア 連携協定

学生の就職活動を支援し、岡山県へのUターン就職（※1）を促進することを目的に、「岡山県と創価大学および創価女子短期大学との就職支援に関する協定書」を1月15日に締結しました。

岡山県内の就職説明会等の開催スケジュールやインターンシップ等の情報を学生に提供するとともに、学内での就職セミナーや情報提供サービス等の取り組みを岡山県と連携して行います。

協定の主な連携、協力事項は以下の通りです。

1. 学生やその保護者に対する岡山県内の企業の情報、各種イベント等の周知に関すること
2. 学内で行う合同企業説明会等の開催に関すること
3. 学生のUターン・Iターン就職に係る情報の交換および実績の把握に関すること
4. 学生のUターン・Iターン就職活動の支援に関すること
5. 岡山県内の企業等における学生のインターンシップ受入の支援に関すること
6. その他学生のUターン・Iターン就職の促進に関すること

(H09-a)





創価大学

Discover your potential  
自分力の発見



創価女子短期大学

# 採用のための大学案内 創価大学キャリアセンター

# 2019

特集：理工学部紹介 P9



TOP GLOBAL  
UNIVERSITY  
JAPAN

「スーパーグローバル大学創成支援」に  
採択された創価大学は、  
「人間教育の世界的拠点」を目指します。

(H09-b)

# キャリアセンターの支援体制

キャリアセンターでは学生一人ひとりのキャリアデザインから進路・就職活動まで、親身になってサポートします。1年生から充実のキャリアサポートが始まることは大きな特徴です。

## キャリアサポート

キャリアセンターではさまざまなキャリアイベントを用意し、夢の実現をサポートしています。

### キャリア科目

#### ■キャリア開発フォーラム (1・2年生前期2単位)

本学OB・OGを講師として招きます。多様なワークスタイルに触れ、学生の将来の選択肢が広がります。

#### ■ワールドビジネスフォーラム (1・2年生前期2単位)

世界を舞台に活躍することを夢見る学生の起点となります。多くの学生がこの授業を契機に世界に羽ばたいていきます。

#### ■キャリアデザイン基礎 (1年生後期2単位)

夢を見据えた充実の学生生活を送るには履修必須科目です。内定を勝ち取った4年生が手厚くサポートします。

#### ■インターンシップ (1~4年生・1~2単位)

充実した就業体験プログラムです。毎年、約200名の学生が就業体験を通じ、キャリアプランを形成しています。

#### ■キャリアビジョンⅠ (3年生後期2単位)

希望進路の実現に向けて、具体的な職業を得るための知識・方法を習得します。学部別に特色を活かして開講しています。

#### ■キャリアビジョンⅡ (4年生後期2単位)

卒業後、「即戦力」として活躍するための必要なコミュニケーション能力を養い、卒業後のプランニングを実施しています。



### キャリアイベント

#### ■Design Your Dreams

1、2年生を対象に毎年500名以上が参加する大イベント。各分野で活躍するOB・OGの先輩方と語り合い、自分にしか描けない夢を見つけ、夢の一步を踏み出します。

#### ■Bridge to the Future

2年生を対象に企業就職・教員・公務員など、1日にたくさんの仕事を体験できる楽しいイベント。グルースワークを通して、仕事の面白さを実感し、夢への理解と思いが深まります。



## 就活サポート

就職ガイダンスや履歴書・面接対策そして専門分野を持つスタッフからキャリアセンターまで常駐しているでも相談できる体制が整っています。その他にも就活合宿や就活イベントなど、人気のプログラムやイベントが揃っています。



#### ■就活合宿



就職活動の本番対策として、履修を忘れてお互いに磨き合う1泊2日の2泊3日プログラム。とても人気のある合宿です。

#### ■就活習いごと



4年生が手作りで後輩のために開催する最大の就職イベント。夢の実現が先輩の応援によって、さらに加速します。

## CSSとRSS

2004年のキャリアセンター設立と同時に誕生した学生サポートスタッフです。「後輩の進路就職をサポートしたい!」という思いを持った学生有志が集まり、キャリアセンター職員と一緒に卒業前の半年間活動する組織で、2016年で13年目を迎えました。1、2年生のキャリアサポートを担当するCSS(キャリアサポートスタッフ)は「キャリアデザイン基礎」履修生に対して個別の進路相談や授業内でのサポートを行っています。3年生の就職活動サポートを担当するRSS(リクルートサポートスタッフ)は「キャリアビジョンⅠ」履修生に対するサポートや就活相談会で履歴書の書き方や面接対策など具体的なアドバイスを行って、就職活動に関する疑問や不安を解消しています。

※CSS 40名、RSS 85名(2017年度)

(H09-C)

# 鳥取県 労働者



鳥取県には、

鳥取県側 手持ち資料  
(H09-d)

vol. 3



# とっとり インターンシップ 参加学生募集

「自分を磨きたい」「仕事を体験してみたい」

「鳥取県内の企業を知りたい」方へ

学年を問わず、県内  
県外学生も多数参加！  
留学生も歓迎です！  
コーディネーターがしっかり  
サポートしますので安心！

さらなる深堀り！

**長期有償型**

**インターンシップ**

スタートしてます！  
詳しくはWebで！

**交通費  
宿泊費**  
一部助成  
※適用条件あり

応募方法

簡単！楽チン！  
エントリーはWebから！

2018 **11/1(木)**より  
受付スタート！

一次募集  
締切

2018.

**12/7(金)まで**

【二次募集】

2019. **1/7(月)** 開始

連絡先

鳥取県中小企業団体中央会 とっとりインターンシップ推進事業

〒680-0845 鳥取市富安1丁目96 TEL▶0857-26-6671 E-mail▶miryoku@chuokai-tottori.or.jp

！詳しくは「とっとりインターンシップ」のホームページをご覧ください。

期限を過ぎてからの申し込みも可能ですが、インターンシップ先はご希望に  
応えない可能性があります。お早めにご応募ください。

<http://www.tottori-internship.net>

とっとりインターンシップ

検索



主催 / 鳥取県インターンシップ推進協議会

鳥取県側手持ち資料  
(H09-e)

※短期大学・米子工業高等専門学校  
E会会・鳥取県中小企業団体中央会  
協・NPO法人学生人材バンク

とっとりで自分らしい働き方を表現してみませんか?

**Hello!**

# 鳥取県立 東京ハローワーク

＜鳥取県技術人材バンク＞

## あなたのIJUをトータルサポート!

IJUターン就職を  
全面サポート  
します!

働きたい  
あなたを  
応援します!

独自の求人情報  
から最適な求職  
支援を行います!

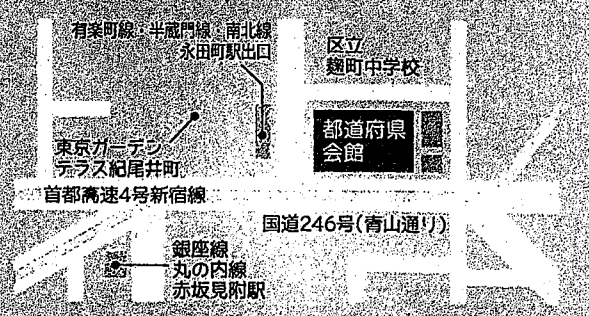
気軽に往復!

鳥取⇄東京(羽田)線  
米子⇄東京(羽田)線

1日あわせて  
**10**往復



### 県立東京ハローワーク



〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3  
都道府県会館10階(鳥取県東京本部)  
TEL 03-5212-9179 FAX 03-5212-9079  
開所時間/[月~金] 8:30~17:15

鳥取県側の手持資料  
(H09-5)

※米子・境港・東京・大阪に開設

## 政 務 活 動 報 告 書 ( 2 0 1 8 年 度 )

活 動 事 項	全国ろうあ者体育大会埼玉大会ソフトボール会場視察	
活 動 年 月 日	2018年 9月22日	
場 所	熊谷荒川緑地。	
活 動 の 相 手 方	・全国ろうあ者体育大会埼玉大会ソフトボール競技 運営役員、競技審判員、手話支援員等	
目 的 ・ 内 容 ・ 結 果 等	<p><b>【目的】</b></p> <p>2019年9月に予定されている、第53回全国ろうあ者体育大会in鳥取・島根が成功裏に開催できるよう、埼玉大会の現状視察をおこない、本県に於ける準備に役立てる。</p> <p><b>【内容】</b></p> <p>視察したソフトボール競技は熊谷荒川緑地（河川敷）でおこなわれた。</p> <p>主な問題点などは、</p> <p>①近くの駅には来年のラグビーの大きな横断幕広告があったが、その時おこなわれていたデフソフトボールの試合については何もなかった。</p> <p>②試合会場の観客が大変少なかった。出場チームの関係者だけのようだった。</p> <p>③審判の話では、ルールは同じでジェスチャーで通じるが、本来盛り上がる場面で異様に静かなのにはやりにくかったようだ。</p> <p>観客が少なく動きもなく、盛り上がりに欠けていた。一般の方の観客、応援が必要ではないかと感じた。</p> <p><b>【結果・(成果)等】</b></p> <p>2018年11月議会で、知事と教育長に質問した。</p> <p>特に、決して大きな大会ではないが、垂れ幕で歓迎したり、一人でも多くの一般客が会場に足を運び、応援する、そのことでろう者と心のふれあい・交流を生むことが、あいサポート先進県として必要だと、視察内容を活かして質問した。十分な対応がなされると考える。</p>	
関連領収書番号	伝票No.	74、78～80。

## 全国ろうあ者体育大会埼玉大会 鳥取県スポーツ課視察日程

- 9 / 21 (金) (開会式) : 2名 (安永係長、前田 (直) 係長)  
22 (土) (競技会場) : 5名 (太田スポーツ振興監、小西スポーツ課長、安永係長、  
前田 (直) 係長、前田 (康) 補佐)  
23 (日) (競技会場) : 5名 (同上)

【土日の日程】 ※太田振興監は他の用務との間で調整中

### 9 / 22 (土)

鳥取空港07:05→(ANA292便)→08:20羽田空港

羽田空港第2ビル08:50→([空港快速]東京モノレール)→09:09浜松町09:14→(JR山手線(内回り))→09:20東京09:28→(とき313号)→10:06熊谷

<ソフトボール競技(熊谷荒川緑地)>

熊谷13:33→([新幹線]あさま616号)→13:46大宮13:57→([快速]JR川越線)→14:06西大宮  
→(TAXI)→秋葉の森総合公園

<サッカー競技(秋葉の森総合公園又は駒場運動公園(浦和からTAXI))>

西大宮17:04→([快速]JR川越線)→17:13大宮17:21発→([急行]東武野田線)→17:36春日部  
17:38→([急行]東武伊勢崎線)→17:58草加

宿泊:東横INN草加駅西口 <https://www.toyoko-inn.com/search/detail/00118/>

### 9 / 23 (日)

草加08:39発→([急行]東武伊勢崎線)→09:03東武動物公園09:07→([区間準急]東武伊勢崎線)  
→09:14久喜

<バスケットボール競技(毎日興業アリーナ久喜)>

久喜11:40→([快速アクティール]JR東北本線)→12:01大宮12:07→([普通]JR埼京線)→12:19  
武蔵浦和12:23→([普通]JR武蔵野線)→12:30北朝霞12:30→(徒歩)→12:33朝霞台12:38→  
([普通]東武東上線)→12:41朝霞

<バドミントン競技(朝霞市立総合体育館)>

朝霞14:57→([準急]東武東上線)→15:13池袋15:19→(JR山手線(内回り))→15:46品川15:52  
→([快特]京浜急行本線)→京浜急行空港線)→16:08羽田空港国内線ターミナル

羽田空港16:35→(ANA297便)→17:50鳥取空港

※往復の飛行機はこれで固定ですが、埼玉県内の会場間の動きが若干前後することがあります。  
(現地では、県聴覚障害者協会や競技団体と合流し意見交換しながら視察する予定です。)

スポーツ課 前田 (康) 課長補佐 携帯番号

(H09-9)

第52回 彩の国で進せよう多彩なアスレティックなプレーを！ 深めよう絆を！  
**全国ろうあ者体育大会in埼玉**  
 The 52nd National Sports Competition for the Deaf

検索 ...



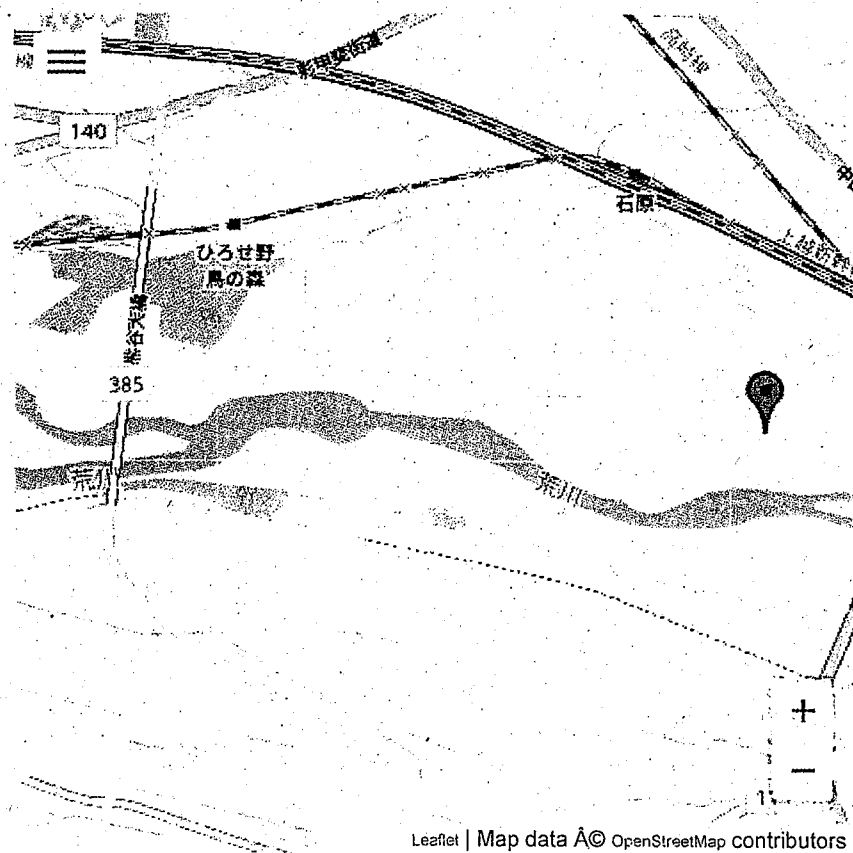
ホーム    あいさつ    開催要綱 ▾    体育大会案内書    競技会場 ▾

タイムテーブル・組合せ    速報・宣伝 ▾    開催市の紹介 ▾    グッズ    FACEBOOK

## 第26回ソフトボール競技

### 熊谷荒川緑地

〒360-0016 埼玉県熊谷市熊谷2553-2



Leaflet | Map data © OpenStreetMap contributors

### 埼玉西武ライオンズ

ろう者のオリンピック  
 2025年デフリンピックを日本で!



### 人気記事

- 体育大会案内書
- 試合タイムスケジュールと組合せを公開しました
- 速報第1号
- 速報第4号
- 速報9号(開会式)
- 速報28号(卓球・2日目結果)
- 体育大会ポスター(競技別)
- 速報26号(ボウリング・2日目結果)
- 速報15号(卓球・1日目結果)
- 体育大会公式サイト開設!

(H09-h)

## 政務活動報告書（2018年度）

活動事項	山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会 国、国会議員への要望活動	
活動年月日	2018年11月7, 8日	
場所	衆議院議員会館、参議院議員会館、内閣府、環境省、観光庁、文部科学省	
活動の相手方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月7日</li> <li style="padding-left: 20px;">衆議院議員一竹内譲、濱村進</li> <li style="padding-left: 20px;">参議院議員一山本博司、谷合正明、伊藤孝江</li> <li>・ 11月8日</li> <li style="padding-left: 20px;">衆議院議員一本田太郎、石破茂、赤澤亮正、谷公一、斉藤鉄夫</li> <li style="padding-left: 20px;">参議院議員一青木一彦</li> <li>・ 舞立昇治 内閣官房政務官</li> <li>・ 正田寛 環境省自然環境局長</li> <li>・ 平岡成哲 観光庁観光地域振興部長</li> <li>・ 池原充洋 文部科学省大臣官房文部科学戦略官（国際）</li> </ul>	
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 国、国会においてジオパーク支援を推進するよう要望をおこなう。</p> <p><b>【内容】</b> ○ジオパーク要望内容は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ジオパーク活動を機能的かつ一体的に支援する体制を充実すること</li> <li>②国内外への認知・PRを十分に行うこと</li> <li>③広域にわたる地域への対策やアクセスなどを支援すること</li> <li>④訪日外国人の受入体制を充実すること</li> <li>⑤首都圏等の国際空港から地方空港を結ぶ観光ルートを整備すること</li> <li>⑥山陰海岸に並走している鉄道ダイヤの充実を図ること</li> </ul> <p><b>【結果（成果）等】</b> 山陰海岸ジオパークは三府県にまたがっているため、国への予算要望など難しい側面がある。これまでの国・国会議員への要望の成果として、各種補助金がつけられるようになってきたが、複数の行政区にまたがっているので使いづらい側面があった。ただ観光面では、関西広域連合の分科会で事業が決定されれば、広域連合が受け皿となって進めることができることがわかり、今後の議連の活動に参考となった。</p>	
関連領収書番号	伝票No.	93、97～101

ジオパークによる地域活性化推進議員連盟 要望先

(銀杏担当分) 公明党関係

□ 11月7日

(幹事長代理)

衆議院議員 竹内 譲 (京都在住)

(事務局次長)

衆議院議員 濱村 進 (兵庫在住)

(会員)

参議院議員 伊藤 孝江 (兵庫在住)

〃 谷合 正明 (埼玉出身、岡山在住)

〃 山本 博司 (愛媛出身)

□ 11月8日

(会長代理)

衆議院議員 斉藤 鉄夫 (島根出身、広島在住、党幹事長)

(H12-a)

# 関係省庁及び国会議員への要望活動概要

～山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会～

平成30年10月2日 鳥取県議会事務局

- 1 実施日 平成30年11月8日(木)
- 2 参加者 藤縄会長(鳥取県)、巽副会長(京都府)、上田副会長(兵庫県)、  
銀杏幹事長(鳥取県)、門間幹事(兵庫県)、他、確認中  
【随行：鳥取県議会事務局 調査課職員】
- 3 要望先 ○関係省庁 環境省、内閣官房(地域創生)、観光庁(新規)  
文化庁(文部科学省)
- 国会議員 衆議院 谷 公一 議員(兵庫県・副会長)  
" 本田太郎 議員(京都府)  
" 石破 茂 議員(鳥取県・会長)  
" 赤澤亮正 議員(鳥取県・副会長)  
参議院 舞立昇治 議員(鳥取県・事務局長)  
" 青木一彦 議員(鳥取島根合区・幹事)  
(含：国会議連事務所)
- ※その他＝齊藤鉄夫(会長代理・元環境大臣)、  
※舞立事務所に日程調整を依頼中

## 4 行程案

午前～ 都内で集合(集合場所は別途調整)  
各国会議員へ

午後～ 各省庁へ(優先順位にしています。)  
・環境省(自然環境局長)  
・内閣官房(まち・ひと・しごと創生本部事務局長)  
・観光庁(観光地域振興部長)  
・文化庁(文化資源活用課長)

鳥取県東京本部に(15分/1箇所程度で)日程調整をお願いします。

(大臣、副大臣、政務官を希望しますが当日ご不在であれば局長で結構です。)

(補足)

※ 要望先は予定です。

※ 国会議員の日程調整が付かない場合は、議員事務所等にお邪魔して、秘書の方等に  
要望書を手渡す予定です。

※ 公明党関係は、前日(ツタ)に銀杏が大方訪問する。  
(H12-b)



平成30年度 山陰海岸ジオパーク三府県議会議員の会 要望活動行程表 (H30.11.8)

最新

時間	(飛行機)	(集合09:45)	9:50~10:00	10:00~10:15	10:15~10:30	10:30~10:45	11:00~11:15	11:30~11:45	11:45~12:00	13:00~13:15	14:00~14:15	14:30~14:45
要望先			本田太郎 衆議院議員	石破 茂 衆議院議員	赤澤亮正 衆議院議員	谷 公一 衆議院議員	内閣府 舞立昇治政務 官 まちひとと仕事を創 生本部	斉藤鉄夫 衆議院議員	菅木一彦 参議院議員	正田 寛 環境省 自然環境局長	平岡成哲 観光地域振興 部長	池原充洋 文部科学省 国際統轄官付
面談場所		衆議院第2議員 会館 ロビー	衆議院第2議員 会館 210号室	衆議院第2議員 会館 515号室	衆議院第2議員 会館 1022号室	衆議院第2議員 会館 810号室	内閣府政務官 室	衆議院第1議員 会館 412号室	参議院議員会 館 814号室	中央合同庁舎5 号館26階 自然環境局長 室	中央合同庁舎3 号館6階	中央合同庁舎7 号館12F 国際課応接室
移動方法		移動はタクシー を使用(近距離 の場合は徒歩)										要望終了後、羽 田空港へ
議 員 随 行	藤縄会長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	上田副会長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	銀杏幹事長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	門間幹事	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	鳥飼補佐	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人数		5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	
備考		全員集合後、受 付手続室、入館 舞立事務所中 國秘書、東京本 都市田田副主幹と 合流 市田副主幹						終了後、屋敷 参議院議員会 館 食堂		1255環境省1F 受付で東京本 都田中主幹と 合流	13:40国土交通 省喫茶で東京本 都山本副主 幹と合流	14:25文科省2F ロビーで東京本 都西平主幹と 合流

【緊急連絡先】

鳥取県議会議務局 0857-26-7457  
鳥取県東京本部 03-5212-9077  
鳥取県議会議務局随行人 鳥飼 (携帯電話)

(H12-C)

## ジオパーク活動の推進について

ジオパーク (geopark) は、ユネスコの支援で2004年に設立された世界ジオパークネットワーク (GGN) により世界各国で推進されています。日本では、2009年に日本ジオパークネットワーク (JGN) が設立されました。

現在、JGN認定の国内地域は43地域とジオパーク活動の取り組みが全国的な広がりとなりつつあり、そのうちGGN加盟は世界140地域のうち日本では9地域が所在しています。京都府、兵庫県、鳥取県の三府県にまたがる山陰海岸ジオパークは、平成22年秋にGGNに国内4番目に認定され、平成26年秋に再認定された地域です。

このように世界ジオパークは、認定後も4年に1回の審査が行われ、地域による保護・保全とジオツーリズム・観光や教育等への活用に向けての活動を官民が一体となって推進することが不可欠です。しかしながら、これらの活動に特化した支援は十分でなく、国や国民における認知度もいまだ低いのが現状です。

日本の観光振興・地域発展に資するジオパークを今後一層推進するべく、国及び国会内において以下の点について取り組みを行い、ジオパーク活動に対する支援の態勢を整えて頂きますよう要望します。

### 記

1. 日本国内におけるジオパーク活動を推進するため、機能的かつ一体的な支援の体制を充実すること。特に、複数の府県にまたがるジオパークにおいては、自治体間の連携や体制整備に苦慮することが多いことから、地元自治体、そして異なる府県、自治体が連携して取り組むジオパークを活用した各種取組 (産業、教育、観光等) について、積極的に財政支援を行い、地方創生の一助とすること。

1. ジオパークについて、国民の理解を深めるとともに、ユネスコ正式事業化を好機と捉えて、国内外へのPRを十分に行うこと。特に、国内のジオパークの魅力を国民に広くPRし、浸透させること。

1. 広域にわたる地域への対策やアクセスなどを支援すること。特に、山陰海岸ジオパーク域内を縦横に走る「山陰近畿自動車道 (鳥取豊岡宮津自動車道。愛称：ジオパークロード)」及び「北近畿豊岡自動車道」を早期に整備すること。

1. 訪日外国人の受入体制を充実すること。山陰海岸ジオパークをはじめ、ジオパークの多くは、来訪者のための交通インフラが十分に整備されていない。従って、継続的な受入体制を維持するためにも空港、港湾施設の整備、CIQの充実を図ること。

1. 首都圏等の国際空港から地方空港を結ぶ観光ルートを整備すること。国の施策及び外的要因により訪日外国人は増加している。これら増加している訪日外国人がジオパークを訪問し易くするため、首都圏等の国際空港と地方空港を結ぶ航空路線の充実を図ること。

1. ジオパークエリア内の移動が容易にできよう、山陰海岸に並走している鉄道ダイヤの充実を図ること。鳥取～豊岡間を結ぶ臨時快速列車「山陰海岸ジオライナー」の夏季休暇期間等における増便及び京丹後方面への乗り入れ、豪華寝台列車トワイライトエクスプレス「瑞風」の京丹後方面への乗り入れ、鳥取～京丹後間を結ぶ特急列車の創設をJR西日本等、関係機関に働き掛けること。